ご相談窓口のご案内

弊社商品をご購入ありがとうございます。製品の使い方相談、修理相談については下記の窓口をご利用ください。

なお、修理をご依頼される際は、「取扱説明書」に記載の「こんなときは/故障かな?と思ったら」などを一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名(表紙右上表示)、②お買い上げ日、③お買い上げ販売店、④故障症状、⑤症状によっては製品を一緒に動作確認させていただく場合がありますので、製品を近くにご用意ください。具体的な症状をご確認の上ご連絡ください。

※出張での使い方の説明、修理はおこなっていませんので、ご了承ください。

ホームページで

製品サポート情報や、お問い合せについてご覧いただけます。

http://www.tohshoh.jp

使い方/修理相談窓口

電話 048-997-2244

FAX 048-997-2082

受付時間 月~金 9:30~17:30 休業日 土・日・祝日

株式会社とうしょう カスタマーサービス 〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ曽根1442-1

保 証 書 この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

品	名言	高音	質•	多機能	ピター	ンテーブル	/搭載マルチ	プレー	ヤー	TCD-991EB
おっ	お名前	Í				ご住所				
客 様							電話番号	()	
お買	お買上げ日			取扱販売店名・・	住所・電話番号					
			年	月	日					
1	期間 買上げ日	より)		本体	1年					
			((但し消耗品	品は除く)					

〈無料修理規定〉

- 1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買い上げの販売店にお申し付けください。なお、出張修理はおこなっておりません。
- 2. 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。 ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ②お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障 及び損傷。
- ③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波等天変地 異または戦争、暴動等破壊行為による故障及び損傷。
- ④異常電圧、電気の供給トラブル等に起因する故障及び損傷。
- ⑤用途以外で使用した場合の故障及び損傷。
- ⑥本書のご提示がない場合。
- ②本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない 場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 4. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- <製品部品の保有期間> 部品の保有期間は製品製造終了から6年間です。
- ※一年間は無料修理を行います。但し、お買い上げより一ヶ月間が過ぎてからの修理依頼に関して、弊社へ
- の送料はお客様ご負担にてお願いします。尚、修理完了後の送料は弊社負担にて発送させていただきます。

型名:TCD-991EB

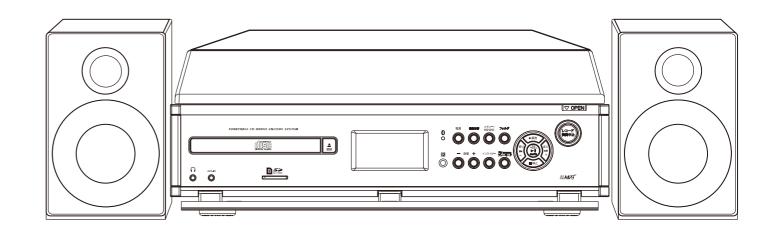
高音質・多機能ターンテーブル搭載 マルチプレーヤー

取扱説明書(保証書付)

VER.01

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。



輸入元:株式会社とうしょう

住 所: 〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ曽根1442-1

カスタマサポート:048-997-2244

目 次

目次・・・・・・・・・・・ ②	SDカードへの録音方法 ・・・・・・・・・ ③
製品仕様・・・・・・ ②	SDカードの再生方法 ····· ⁽³⁾
安全上のご注意・・・・・・ ③	ラジオの聴き方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ⑭
本体各部の名称・・・・・・・・・ ④	Bluetoothの受信方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ターンテーブル各部の名称・・・・・・ ④	外部入力の方法 ・・・・・・・・・・・・・ ⑭
リモコンの各部名称と機能····· ⑤	時計の設定方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・⑤
リモコン電池交換方法 · · · · · · ⑤	SDカード録音曲の削除方法 ・・・・・・・ ⑯
付属品	こんなとき故障かなと思ったら? ⑰
針の保護カバーについて・・・・・・・ ⑥	日常のお手入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
レコードの使用方法・・・・・・・・⑦⑧⑨	レコード針の交換方法 ・・・・・・・・・・・・ (8)
CDの再生方法 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ご相談窓口のご案内
SDカードの使用方法/録音・再生・ ⑫	使い方/修理窓口・・・・・・保証書

仕 様

- 本体サイズ 幅(W)425×奥行(D)×360×高さ(H)175mm 重量:約4.6 K g 電源コード長:1,680 mm
- CDプレーヤー 周波数特性:60Hz ~ 16KH z(±3db) C D方式:Audio CD / CD-R / CD-RW ファイル形式:WAV / MP3
- レコードプレーヤー モーター: DC 方式 駆動方式:ベルトドライブ 回転数:33¹/₃/45/78rpm カウンターウエイト(針圧):4-6 g アンチスケーテイング機能/ ピッチコントロール機能

- SDカード MP3エンコーディング ビットレート:64 / 128 / 192KBPS サンプリングレート:44.1KHz
- ラジオ PLLシンセサイザーチューニング方式 A M: 530 kHz ~ 1,6000 kHz F M: 76MHz ~ 108MHz
- スピーカー 幅(W)140×奥行(D)×140×高さ(H)205mm 重量:約1.0Kg 出力:5W×2 ケーブル長:1,200mm ウー八-径:85mm ツィーター径:30mm

日常のお手入れ

⚠ 注意

●高温多湿の場所に設置しないでください

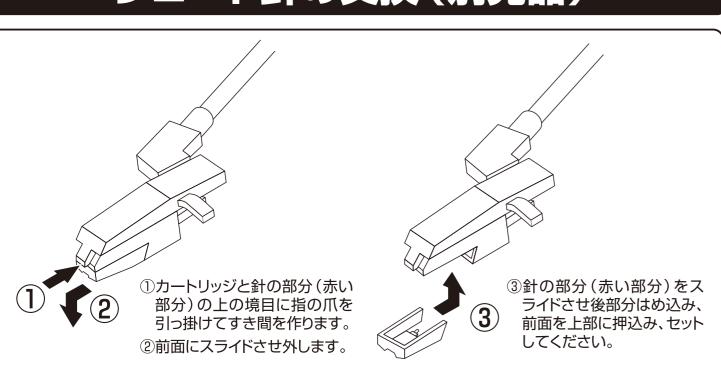
正常な機能を維持し、末永くお使いいただくために、お風呂場の近くやストーブ、直射 日光の当たる場所など、高温や多湿の場所ではお使いにならないでください。変形した り、故障の原因となることがあります。

●汚れを取るときは

汚れをとる場合は、柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水に浸 した布を固く絞ってから拭き取ってください。このとき、必ず電源プラグを抜いてから行 なってください。

研磨剤や強力な洗剤は、本体の仕上げを傷つけることがありますので、絶対に使用しない でください。また、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。変質し たり、曇ったりすることがあります。

レコード針の交換(別売品)



- ●レコード針は、精密に作られていますので、取り扱いは十分注意してください。
- ●針先の耐久時間は、約100時間です。それ以上使い続けると、大切なレコード盤 を傷つけるおそれがありますので、ご注意ください。
- ●トーンアーム先端の形状が事なる場合がありますが 使用している「針/型盤:TO-106」は同一のものになります。

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いに なるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表 示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

3,0	THE BOARD OF STATE OF				
企警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を 示しています。				
<u></u> 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。				
	絵表示の例				
<u>^</u>	△記号は注意(注意・警告・危険を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。				
	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。				
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。)が描かれています。				

●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置 かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因 となります。



●本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないよう にご注意ください。火災・感電の原因となります。

●本器の側面、裏側カバーをはずしたり、本器を改造した

また、本器の内部には触れないでください。火災・感電

の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店に 分解禁止

りしないでください。

ご依頼ください。



●表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で 使用しないでください。火災・感電の原因となります。



●万一、本器を落としたり、破損した場合は、電源プラグを コンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのま ま使用すると火災・感電の原因となります。



●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理 に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いも のをのせたり、加熱したり(熱器具に近づけたり)引っぱ ったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感



電の原因となります。 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店 に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・

感電の原因となります。



●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態の まま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プ ラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなる のを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様 による修理は危険ですから絶対おやめください。



●万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電源プ ラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 (特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。)

●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場

所(調理台や加湿器のそば)に置かないでください。また、

振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原

因となることがあります。



⚠ 注意

●本器の上に重いものを置かないでください。バランス がくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となること があります。また、本器が変形し、火災・感電の原因とな ることがあります。

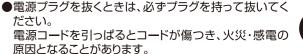
●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。



●直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や 湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の 原因となることがあります。





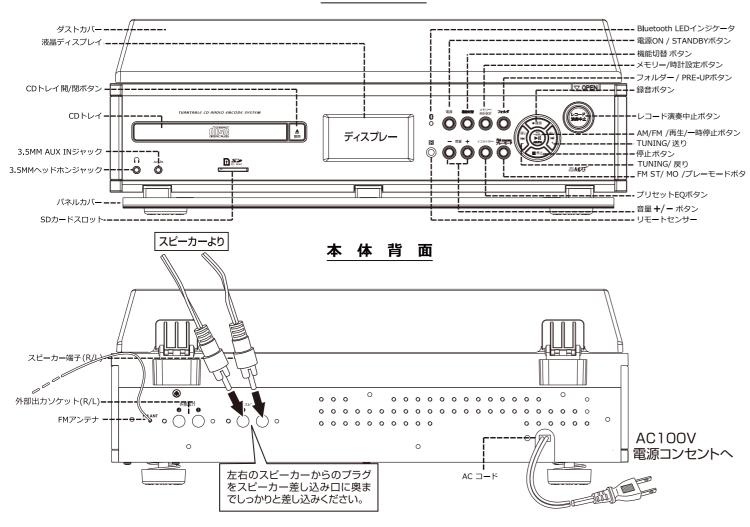


(18)

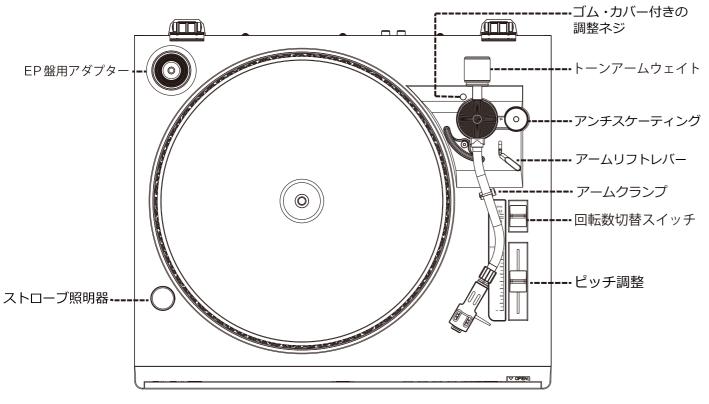
(3)

本体各部の名称

本 体 正 面



ターンテーブル各部の名称



こんなときは/故障かな?と思ったら

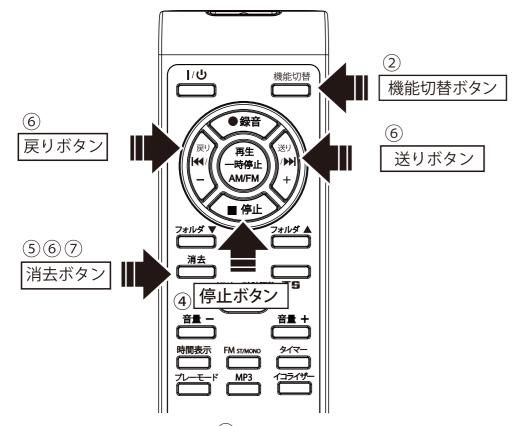
●故障かなと思ったら、まず以下の項目をご確認ください。

	に応りたり、	より、以下の項目をご唯談へたさい。
症	状	ここをお確かめください
スピーカー	音が出ない 音が途切れる	●音量は十分ですか?●ヘッドホンをジャックに差したままになっていませんか?●スピーカージャック端子にプラグが差し込まれていますか?外部出力端子に差し込まれていると音は出ません。
リモコン	リモコンが 使えない	●本体の電源はONになっていますか?●リモコンと本体の間に障害物はありませんか?●リモコンと本体との距離が離れすぎていませんか?(約2m以内)●リモコンの電池は正しい向きに入っていますか?●リモコンの電池が消耗していませんか?
SDカード	再生できない 録音できない	●SDカードに写真や他のデータがはいっていませんか? ●LOCKスイッチが入っていませんか?(録音不可) ●損傷していませんか? ●奥まで差し込んでいますか? ●読取金属部分が腐食や汚れていませんか? ●別の新しいSDカードで試してください
レコード プレーヤー	ターンテーブル が回らない 音が出ない 回転数が 合っていない	 □スピーカー接続部が間違っていないか確認してください ●針先「赤部」が外れていませんか? ●レコードボタンを押して選択しましたか? ●針の保護カバーを前方にスライドさせ、はずしてありますか? ご確認ください。 ●ピッチ回転があっていますか? ストロボ較正を確認し調整を行ってください。
ラジオ	音が出ない雑音が入る	 ●ラジオボタンを押して選択しましたか? ●AM・FMの選択はラジオボタンを押すたびに切換ります。 どちらかを選択しましたか? ●ラジオ選局ツマミでお聴きになりたい番組に周波数を合わせましたか? ●受信しやすい方向にアンテナを動かして、調整してください。 (FM受信時) ●本機の設置場所、設置方向を変えてください。(AM受信時)
CD	再生しない	 ●市販CDですか? PC上での作成MP3は再生できません。 ●CDセット時「裏・表」間違っていませんか? 読取面「キラキラ光っている面が下にきます」 ●CD読込部に指紋、汚れ、傷はありませんか? 別のCDでも試してください。
Bluetooth	受信しない 音が出ない ペアリング しない	●受信機器の音量は「最小」になっていませんか? 再度機能切替Bluetoothにし行ってください ●他の機器が接続されていませんか? 二台同時ペアリングはできません。

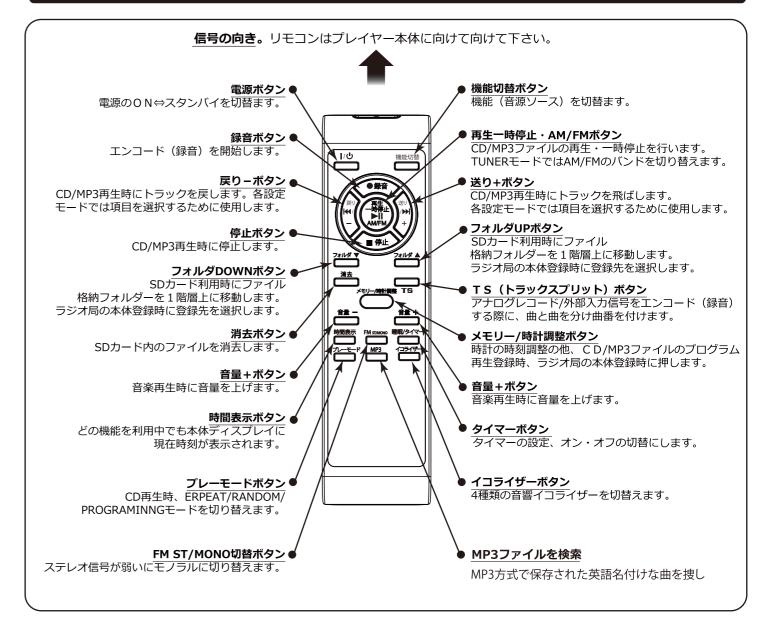
SDカード録音曲の削除方法

	操 作 方 法	ディスプレー表示	詳 細 説 明
	パネルをゆっくり前に倒し、 電源ボタンを押します。 ディスプレイが点灯します。	HELLO	HELLO「ハロー」表示されます。
2	機能切替ボタンで SD を選択します。		PLS INSERT CARD
3	録音/曲が入っている SD を差 し込みます。	READING	読取認識しています。
4	自動的に再生しますので 停止ボタンで再生を停止します。	MP3 A D 2 B B	例:A02 TO 08 A02:フォルダー番号 T008:フォルダー中で保存された曲番
5	消去したい曲を送り・戻りボタン で曲番を確認 (001〜) 消去したい曲番を選択。	DEL - 0 02	消去はリモコンボタンでの 操作になります。
6	消去ボタンを押します。 "YES NO"がディスプーレイに 点滅します。	YES NO	点滅を確認します。
7	消去の場合は送り・戻りボタンで "YES "を選択 消去ボタンを押します。	DELETE	消去完了です ※一曲ごとの消去になります 全て一括では消去できません。

リモコン操作でSDカード録音曲を削除



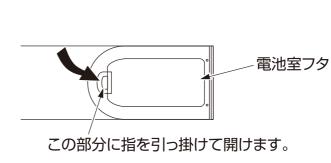
リモコンの各部名称と機能



リモコンを使って、本機のCD及びMP3ファイル(SDカード/CD)を操作する事が可能です。 ※レコードはリモコンでは操作できません。

リモコン電池交換方法

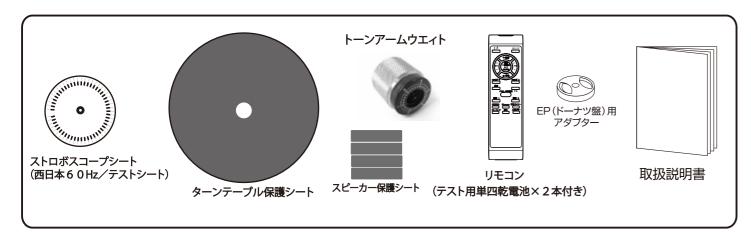
- ●2本の電池 (単4電池) を入れ、フタを閉めてください。 リモコンの操作がしにくくなったら、新しい電池に交換してください。 +とーの向きを正しく入れてください。
- ●使用範囲は2m以内です。
- ●リモコンは本体に向かって操作してください。



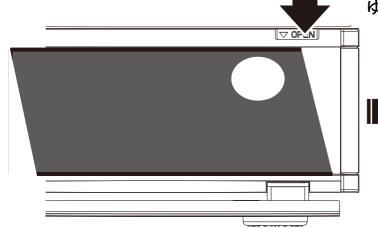
∠図柄にあわせて電池の向 きを間違わないようにセ ットします。

> この部分を先に引っ掛け てからフタを閉めてくだ さい。

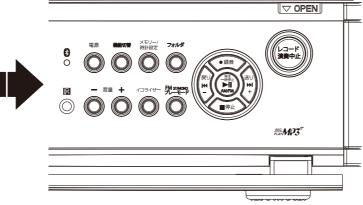
付属品



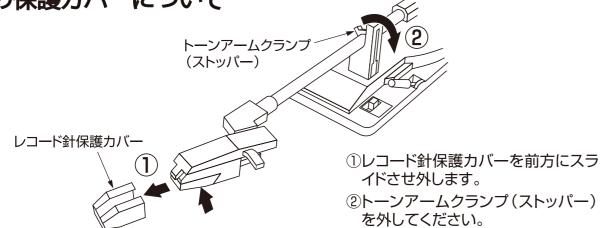
●本体正面のパネルの開け方



OPENに指をひっかけ ゆっくりとパネルを下に倒します。



●針の保護力バーについて



※注意 針先/赤色、外してしまうと音が出ませんので 交換以外は触れないようにご注意ください。

> トーンアーム先端の形状が事なる場合がありますが 使用している「針/型盤:TO-106」は同一のものになります。

※レコード使用後に針の保護の為に、保護カバー装着をお勧めします。

時計の設定方法

	操 作 方 法	ディスプレー表示	詳細 説 明
1	本製品をスタンバイモード 待機状態にします		電源プラグをコンセントに差込み 本体電源を入れる前の状態です。
2	パネルを倒し、メモリー/時計設定 ボタンを押します。	SET CLOCK	メモリー/時計設定ボタンを押してから時計設定作業を行います。
3	送り・戻りボタンで選択しまし メモリーボタンを押します。	24HR 12HR	送り・戻りボタンで24HR又は、12HR を選んでからメモリーボタンで決定。
4	12HR を選んだ場合ディスプレイに"AM:12:00"が出ます。	AM 12:00	送り・戻りボタンで選択し、メモリー ボタンで決定します。
5	ディスプレイに設定された時間 が表示します。	PM 11:00	送り・戻りボタンで選択し、メモリー ボタンで決定します。
6	24HR を選んだ場合ディスプレイに"AM:12:00"が出ます。	00:00	送り・戻りボタンで選択し、メモリー ボタンで決定します。
7	ディスプレイに設定された時間 が表示します。	23:00	送り・戻りボタンで選択し、メモリー ボタンで決定します。
8	電源プラグをコンセントから 抜くと初期化されます。	<u>-</u>	メモリー/時計設定ボタンを押してから時計設定作業を行います。

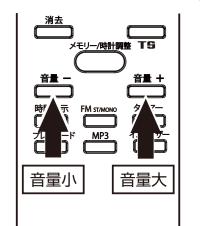
※電源プラグをコンセントから抜くと初期かされます。 また停電の場合も同じです。

音量調整

●音量調整ボタンについて

音量は「音量調整ボタン」を押して、調整してください。「+」側を押すと大きくなり、「ー」側を押すとと小さくなりますのでお好みの音量でお聴きください。ボタンを押し続けると「+側=だんだん大きく」「一側=だんだん小さく」なります。また、一度電源を切ると「音量は最小」に戻りますので音量を再度お好みの音量に調整してお聴きください。





ラジオの聴き方

	操 作 方 法	ディスプレー表示	詳 細 説 明
1	パネルをゆっくり前に倒し、 電源ボタンを押します。 ディスプレイが点灯します。	HELLO	HELLO「ハロー」表示されます。
2	機能選択ボタンでラジオ選択 長押しすると自動選局 AUTO TUNING	TUNER FM MHz FM SG. III	MANUAL TUNING 戻り・送りボタンでお好みの 選局にします。
3	AM/FMボタンを押すと AMに切替わります。	TUNER AM KHZ	お好みの音量に調整します。 最大音量は31dbです

プリセットステーション機能(本体に予めセットすることが可能です)

- 1. MANUAL TUNING または AUTO TUNING で希望の放送局が可能です。
- 2. メモリー/時計設定ボタンを押し、メモリー可能な状態にします。
- 3. フォルダボタンで希望のメモリーを選択します。
- 4. 再度メモリー/時計設定ボタンを押し設定を確定します。
- 5. 1~4を繰り返して、他の放送局を設定してください。
- 6. プリセット局を順番に選ぶには、フォルダボタンを押してください。
- ※ラジオの受信に関して、本製品の置き場所によって受信しずらいことがあります。 受信しやすい場所にてお試しください。

Bluetooth の受信方法

	操 作 方 法	ディスプレー表示	詳 細 説 明
	パネルをゆっくり前に倒し、 電源ボタンを押します。 ディスプレイが点灯します。	HELLO	HELLO「ハロー」表示されます。
2	機能切替ボタンで BLUE を 選択します。	8 BLUE	Bluetooth LED が点滅します。 受信の機器を検索中です
3	受信したいデバイスの接続画面 "TCD-991" を選択します。	8 VOL 30	お好みの音量に調整します。 最大音量は31dbです



受信したいデバイス(スマートフォン等)の音量またはイコライザー設定によって本機プレーヤーからの音声が音割れしたり、音が小さかったりする場合はデバイスプレーヤーの音量調節をしてください。

外部入力の方法

- 1. 本機(前面)の AUX-IN ジャックに外部接続用のプラグを差込みます。(3.5mmコード)
- 2. 機能切替ボタンで PHON/AUX にします。
- 3. 再生したい外部プレーヤーの外部出力(イヤホンジャック)にも同様に接続コードを 差込みます。
- 4. 外部プレーヤーを再生します。本機スピーカーより音声が流れます。
- 5. 外部プレーヤー音声録音の場合 1~4までは同様です(SDカード録音方法参照ください)

レコードの使用方法

レコードプレーヤーをご使用前に必ず下記事項をご覧ください。

本機プレーヤーには傷を保護する為の薄い透明フィルムシートがついております。

で使用時に剥がしてください。(フタ部・本体正面/側面)

準備ができましたら右側の操作順と図を照らし合わせながら操作を行ってください。

①本体背面にスピーカーを接続します。

必ずスピーカー出力ジャック「R赤/L白」にスピーカー接続コードをしっかりと差し込みます。

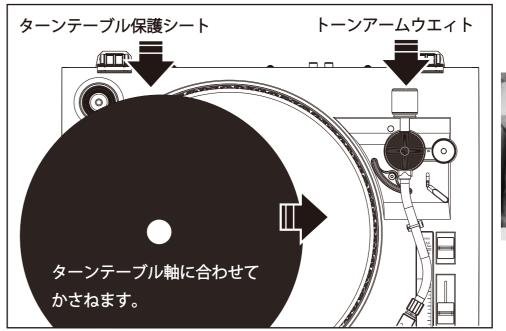
スピーカーコード「黒」はどちらでも構いません。

②電源プラグをコンセントにしっかり差し込みます。

(複数のコンセント/延長ケーブルでのご使用はしないでください)

③ターンテーブルに保護シートをのせます。

「梱包箱」に丸型ターンテーブル保護シートが入っています。



④トーンアーム後部にウエィト(おもり)を取付けます。「梱包箱内部・白いウレタン部にセットされています」





トーンアーム後部「丸形」のところまで取付します ウエィト/アンチスケーターツマミどちらも 基本は「0」メモリーにしてください。 横流れ「滑る」ようなレコードの場合調整してください。 ターンテーブル保護シート

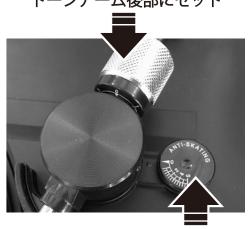


トーンアームウエィト



ストロボスコープシート

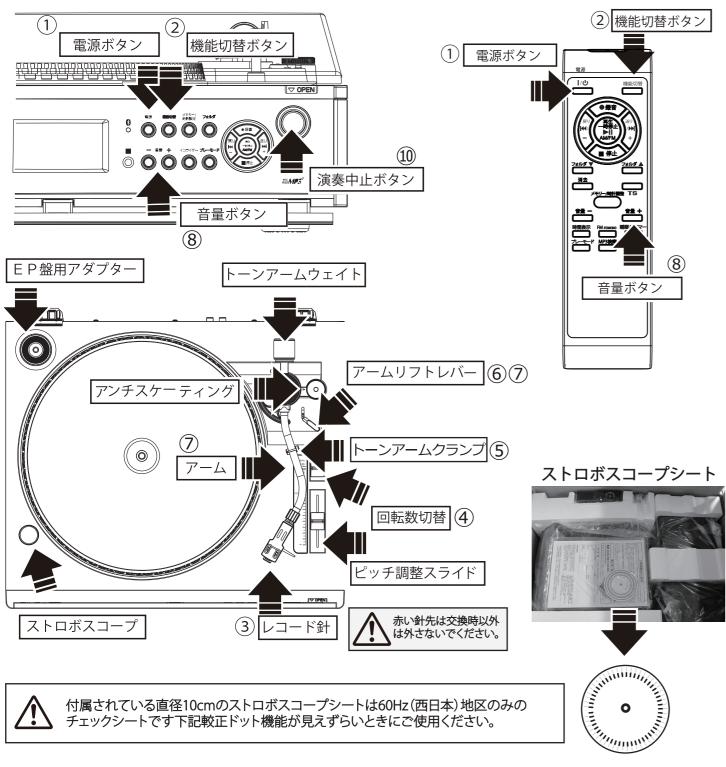
黒い部分から トーンアーム後部にセット



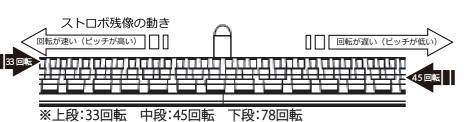
アンチスケーター

レコードの使用方法

準備ができましたら右側の操作順と下記図を照らし合わせながら操作を行ってください。



右図を参考にしていただきストロボ 較正ドットの位置を確認します ブルーのストロボがあたっている位置が 残像で止まって見える回転が正常です 動いて見える場合はピッチ調整スライド で止まって見える位置に調整してください。



SDカードへの録音方法

3 D / J	「、くしノ政	(日月)広
操 作 方 法	ディスプレー表示	詳 細 説 明
パネルをゆっくり前に倒し、 電源ボタンを押します。 ディスプレイが点灯します。	HELLO	HELLO「ハロー」表示されます。
機能切替ボタンで SD を選択します。		PLS INSERT CARD
新しい SD カードを挿入口に 差込みます。	NO FILE	
機能切替ボタンで録音したいメディアを選択します。		CD・レコード・Bluetooth の選択方 法は各使用方法を参照ください。
5 CDの場合 CD再生方法参照/ CDをセットします。	CD -	曲数、合計時間が表示されます。
6 録音ボタンを押します。 もう一度録音ボタンを押すと 一曲だけの録音ができます。	REC -ALL	REC_ALL CD 全ての曲を録音します。 REC_ON 選択した曲のみを録音します。
レコード・Bluetooth の場合も同 押します。レコードは針を乗せて		たいメディアに選択し、録音ボタンを てください。
録音が開始スピーカーより 音声が出ます。		レコードからの録音で曲番を入れた い場合は曲と曲の間にリモコンの TSボタンを押します。
8 終了する場合は停止ボタンを押し録音/再生を終了します。	14 -62:51	
SD カ	ードの再生	方法
9 SD カードの音声(録音曲)を 再生します。	READING	読取認識しています。
自動的に再生されます。	MP3	スピーカーより音声が流れます。 音量ボタンで調節します。
送り・戻り/フォルダボタンで お好みの曲を選局できます。	MP3	

★ 本機で使用するSDカードは本機専用に新しいカードをご使用ください。

終了する場合は停止ボタンを押

し再生を終了します。

他の機器で画像、録音等を行ったカードの場合記録状態にっては録音・再生できない場合があまます。また、再生中/録音中には絶対にSDカードを取出さないでください。本製品、SDカード記録情報が破損し不具合の原因になります。

MP3 **WMA**

AC | TC CB

WMA はWMAで保存されたデータを

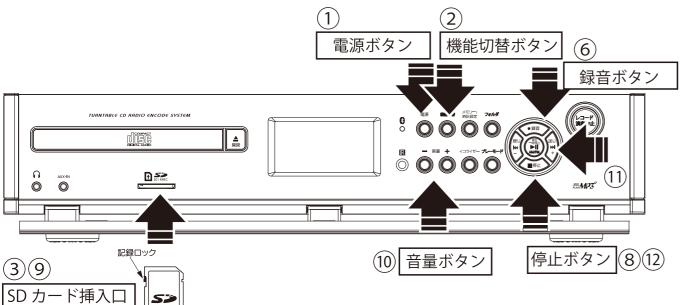
表示。

SD の使用方法/録音・再生

で使用前の準備、本体背面にスピーカーを接続します。必ずスピーカー出力のジャックに差込みます。「R赤/L白」と記載がありますがスピーカーはどちらでも結構です。

電源プラグをコンセントにしっかりと差込みます。

準備ができましたら右側の操作順と下記図を照らし合わせながら操作を行ってください。

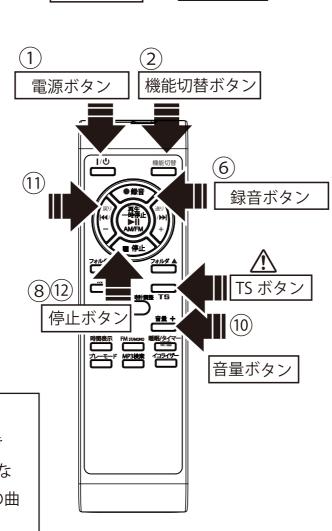


※SDカードは本機専用にて新しいカードを お勧めします。

SDカード

他で使用されたSDカードの場合は互換性 の性質上不具合の原因になる恐れがあります。(写真/他のデータが入っている場合) ※再生/録音中は絶対に本機から抜かないでください。録音データの損傷になります。 ※再生/録音ができない場合は一度PCなどでフォーマット(データ無し)の状態にしていただき再度行ってください。

レコードからSDカードへの録音時、曲と曲の間にボタンを押します。曲間ができ録音後曲番ができます。TSボタンを押さない場合は録音時、停止ボタンを押すまでの曲が全て一曲カウントになります。



レコードの再生

	操 作 方 法	ディスプレー表示	詳細 説 明
1	電源プラグをコンセントに差込 本体電源ボタンを押します。	HELLO	本体正面「黒いパネル」をゆっくりと 前に倒します。演奏終了ボタンの上部に 指を引っ掛けてください。
2	機能切替ボタンを押します 「PHONO/AUX」モードを選択 します。	PHON/AUX	45回転EP盤の場合はレコードを置く 前 にターンテーブル軸に アダプターを セットします。
3	アーム先端の白い半透明の針 保護キャップを外します。	PHON/AUX	このとき「赤」 針先 を外さないよう に注意してください。
4	ターンテーブルにレコードを 乗せ回転数を設定します。	PHON/AUX	※準備:ターンテーブル保護シートが セットされていることを確認します。
5	トーンアームクランプを外し てください。	PHON/AUX	
6	アームリストレバーを手前から 奥へ倒すとアームが上に上がり ます。	PHON/AUX	アームリフトレバーを使わずアーム をそのままレコード盤に置くことも できます。
7	レコード開始位置までアームを 移動させリフトレバーを手前に 倒します。	PHON/AUX	ゆっくりとアームが降りてレコード の再生が始まります。
8	お好みの音量に調節します。 最大音量(MAX)は31	VOL 25	スピーカーから音声が出ます。
9	演奏終了時、自動でアームレス トにアームが戻ります。	PHON/AUX	※自動でアームレストに戻らないとき は本体正面の演奏終了ボタンを押しま す。再度演奏終了時点 から試して下さい。
10	途中で演奏を止める場合は 本体正面の演奏終了ボタンを 押します。	PHON/AUX	演奏中にアームリフトレバーを上げ ることで演奏を終了することもでき ます。

ターンテーブル機能

1. アンチスケーティングコントロール機能

様々な種類・材質のレコード盤に対し、レコード針をより安定させる為にセットされています。再生時に針すべりを起こす場合には調整を行ってください。

2. ピッチコントロール機能

再生中にストロボレンズから発せられる光「ブルーの光」が、ターンテーブル側面にあるストロボ較正ドットに当たる事でストロボ残像に動きが生じ適切な回転数に調整する事ができます。上段 33 回転/中段 45 回転のガイドとなります。

ピッチ調整スライダーを動かし、回転するドットの残像が左右どちらにも動いていないように調整します。(イメージとしては止まって見えます)

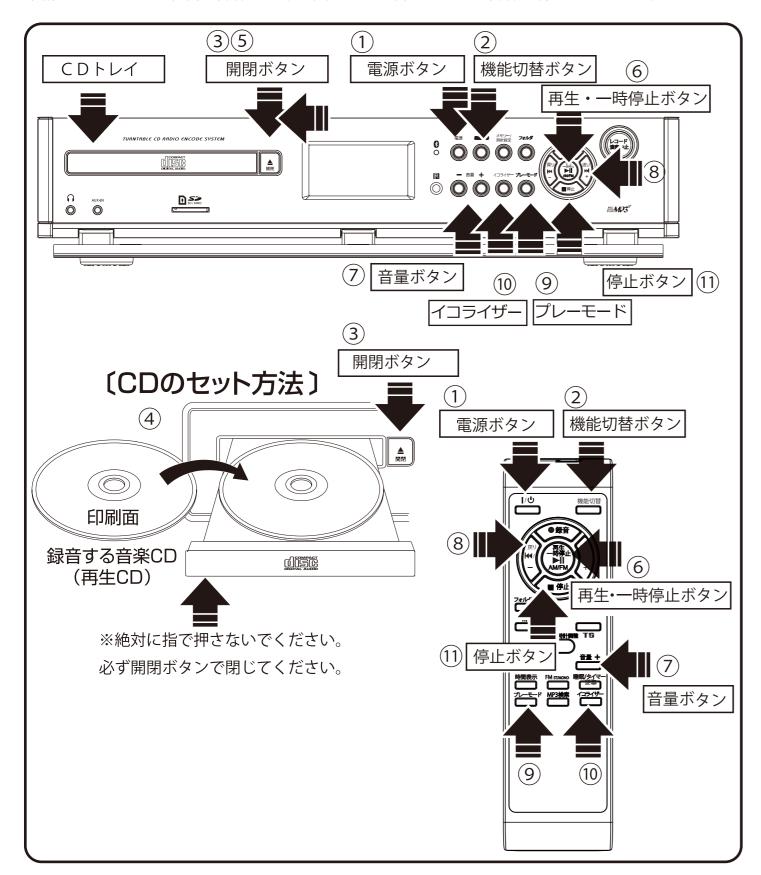
※ストロボ較正機能に関して本製品機能上 60Hz(西日本地域) においては動作機能しない場合があります。

CDの再生方法

で使用前の準備、本体背面にスピーカーを接続します。必ずスピーカー出力のジャックに差込みます。「R赤/L白」と記載がありますがスピーカーはどちらでも結構です。

電源プラグをコンセントにしっかりと差込みます。

準備ができましたら右側の操作順と下記図を照らし合わせながら操作を行ってください。



CDの再生方法

操 作 方 法	ディスプレー表示	詳細説明
パネルをゆっくり前に倒し、 電源ボタンを押します。 ディスプレイが点灯します。	HELLO	HELLO「ハロー」表示されます。
後能切替ボタンで C Dを選択します。	NO DISC	NO DISC「ノーディスク」 表示されます。
3 開閉ボタンを押します。 CDトレイが出てきます。	OPEN	
印刷面を上にして C Dをセット 開閉ボタンを押し閉じます。	CLOSE	※絶対に指で押さないでください。 必ず開閉ボタンで閉じてください。
5 曲数、合計時間が表示されます。	CD	※汚れや指紋が原因で認識しない場合があります。再度綺麗にしてからセットしてください。
6 再生ボタンを押し C Dを再生させます。	► CD	スピーカーより音声が流れます。
7 音量ボタンでお好みの音量に 調節します。	VOL ¦∃	最大音量(MAX)31です。
8 送り・戻りボタンでお好きな曲 を選局できます。		
プレーモードでリピート/オー ルリピート・ランダムを選択できます。	<i>CD</i> ▶ _ [] [] : [] []	○ 選択した曲のみ一度再生します。 ○ ALL 繰り返し全曲再生します。 RAN ランダムに曲再生します。
イコライザーで曲に合わせた リズムを選択できます。	► JAZZ	FLAT CLASSIC ROCK POP 選択します。
終了する場合は停止ボタンを押 し再生を終了します。	CD 4 -62:5	曲数、合計時間が表示されます。
12		CD を本機に入れっぱなしにすると 不具合の原因になりますので必ずご 使用終了時には取出してください。

- ※ 再生CDメディアWAV/MP3 (WMA) のみです。
- ※ MP3ディスクは記録ディスクの録音状態によっては再生できない場合があります。